

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	事業地の障害児 160 人に車椅子を供与し、彼らは自由に移動できることによって、治療や教育を受けやすく、日常生活が改善されて、将来自立するために素地を育成助長する事が出来た。
(2) 事業内容	<p>申請書の事業内容に従って実施し、2月23日にデシエ市のチャシャ財団の活動拠点でチャシャ財団幹部、地方行政幹部、在エチオピア日本大使館一等書記官、障害者及び保護者など約70名を招いて障害児の保護者への引き渡し式を行った。</p> <p>その後、デシエ市郊外の車椅子を貸与した障害児の家庭を訪問し、障害児の生活と車椅子活用の実態を把握した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児を持つ家庭の収入は月6000円から1万円位で全く車椅子を入手する余裕のない貧しい家庭である。 2. 障害の原因の90%が出産時と幼児期の脳性麻痺である。 3. 外で紫外線を浴び、新鮮な空気を吸えるようになって子どもはとても喜んでいる。 4. 近所の子ども達の手助けで学校に行けるようになった。 5. 家族の介助をする負担が大幅に軽減され、母親が家事や他の子どもの世話や仕事にも出られるようになり、子どもばかりでなく、家族の生活が大きく変化した。
(3) 達成された効果	<p>デシエ市近郊で障害児用車椅子を必要とする約250名の内64%に当たる160名のニーズに応えることができ、障害児の健康と自立の支援をすることが出来た。</p> <p>本案件による裨益者数は車椅子を供与した160名の利用者とその介助者(主にその家族1家族当たり平均5名として)約800名の負担が軽減され、さらに訪問物理療法士など治療にあたる職員5名などである。</p>
(4) 持続発展性	<p>障害児の保護者とチェシャ財団とは貸与契約を取り交わして、チェシャ財団は責任を持って維持管理を行うことを確認した。</p> <p>1年後にはモニタリングでプロジェクトの検証と評価を行う。</p> <p>また、破損や故障した時は修理に必要な部品は無償で、当会が負担してチェシャ財団経由で支給することによって有効な活用をする。</p>